

令和元年度 海部地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：令和元年 11 月 25 日（月）

午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

場所：愛知県海部総合庁舎 2 階 201 会議室

（地場産業の現状）

- ・ 繊維業は、本業で利益を出している企業が少ない。工場跡地をスーパーマーケット化したりして、収入を得ているところが多い。これだけ衰退しているので、事業主の 80%以上が 60 歳以上であり、全体の組合員数の中で、後継者があるという事業者が約 20%しかない。そこで働く労働者の年齢は、若い人は皆無に等しく、外国人技能実習生が忙しい企業に派遣されている。
- ・ 2019 年 6 月の植樹祭で天皇陛下がおいでになり、全国の方々に「七宝焼アートビレッジ」を知ってもらったが、そのテレビ映像には、七宝焼の生産工程の映像がなく、生産の難しさ、高価なものの意味が分かってもらえなかったことが残念である。
- ・ 全国の伝統的工芸品は、その地区の産業であると同時に、その地区の文化になっているはずである。産業を所管する経済産業省と、文化を所管する文部科学省に横のつながりを持ってもらうと、文化として残る可能性も考えられる。
- ・ 弥富市の金魚も、高齢化や後継者不足により組合員が減少しているが、小学生を対象にした「金魚の学校」や、保育園児を対象とした「金魚すくい大会」を開催して、小さいころから金魚に親しんでもらえるよう弥富金魚の振興を図っている。

（事業承継）

- ・ 事業承継に関する相談は、経営者である親が病気になった時など、差し迫った状況にならないと、取り組まないのが現状である。
- ・ 事業承継税制は 10 年間の時限措置となっているが、期限を設けないなどの検討も要望したい。
- ・ 事業承継セミナーやスクール形式での後継者を含めたセミナーなどを年に何回か開催しているが、反応はあまりない。
- ・ この地域の商工業者の減少は、高齢による廃業が主な理由で、今後もこの傾向が続くと思われる。
- ・ 事業承継という限りにおいては、そもそも事業自体が利益の出る事業でないと誰も後を継ごうとは思わない。会社の利益が上がらなければ、給料も上がらないため、若い労働者が逃げていく。高い給料を払える会社がたくさんある中で、自社ではボーナスも払えないが、なかなかやめることができないという社長もたくさんいる。そうした事業のソフトランディングをいかに支援していくかも重要ではないかと考える。
- ・ 地元の有名店に跡取りがなく廃業したと聞くともったいないと思う。行政としては、これをどうやって打破していくのが今後の課題ではある。

（人手不足）

- ・ この先、県の人口が減少に転じるといわれている中で、流通業は多大なる影響を受けており、働き手が集まらない産業となっている。そうした中、外国人技能実習生も取り入れてきており、働き方が変化してきている。一方で人が集まらなくなってきたため、今までお断りしていた年代の方にも働いてもらうこともあり、そうした方々が働ける仕組みづくりや安全衛生の部分に多くの課題がある。
- ・ 半年前の調査では、すべての産業で人手不足が前面に出ていたが、現在は、製造業では、売上・受注の停滞、小売業では、売上・受注の減少と、以前の従業員の確保難とは状況が変わってきたのがこの

地域の現状かと思われる。

(管内市町村の施策)

- ・観光を中心に街づくりを考えている。町内にある2つの鉄道と共同でハイキング事業を行い、またフィルムコミッションを立ち上げ全国に情報発信していくを考えている。
- ・昨年度に引き続き、就労支援として女性の再就職支援を行っている。ハローワークの協力も得ながら、市内での就職に結び付けていきたいと考えている。
- ・市内で創業を掘り出していく取組として、NPOや商工会と一緒にセミナーを開催している。そしてセミナーの参加者が創業した後、商工会への加入を促進するため、初年度の商工会費の負担などを行っている。
- ・首都圏からの移住者を支援する取組として、「U I J ターン支援センター」の事業を積極的に活用しているが、なかなか実績が上がらないのが現状である。

(その他)

- ・男性の育児休業を取得した経験から話をすると、やはり、周りの働く仲間の理解がないと取れないことを実感した。取得するにあたっては、自分自身である程度覚悟をもって進めていかないとまだまだ普及していかないのではと感じた。
- ・愛知県は交通事故が多いことが弱みになっているのではないかと思う。1件でも交通事故が無くなれば、人手不足の解消にもつながると思われるし、交通事故死は失わなくてよい命である。警察と行政で減らせたらいいのではないかと思う。
- ・リニアが開通すれば、名古屋駅が大きなゲートウェイになる。そこへ少しでもアクセスしやすいようなインフラ整備が重要となってくる。海部地域は高速道路を使えば名古屋に近いが、道路が未整備のところも多くあるため、その辺りをしっかりやってもらいたい。
- ・最近の動きで懸念されるのが、スタートアップ、ベンチャー、オープンイノベーションなどの言葉だけが独り歩きして色々な団体がそれに飛びついている感じがする点である。ベンチャーやスタートアップは簡単に出てくるものではないと思うので、それぞれの施設をネットワーク化して、特色をもって助け合うような形で進めてもらいたい。